

iPhoneアプリ開発 したい



何年ぶりでしょうか。

数えてみると、この前にこのかべに貼った「かべ新聞」の発行日は、「2010年10月」と書いていました。

2年7カ月ぶり〜。

その間、何をしていたのかと聞くと、病気で入院することもなく、元気でいました。元氣すぎて、3回も、仕事で台湾まで行かせていただきました。

円高の頃でした。今はもう円安ですね。二度と仕事で台湾に行くことはないですね。

いやいや、そんなことよりも、こうして久しぶり、いや、しっかりと日付をくり返していますと、2年7カ月ぶりに「かべ新聞」を書いたのはわけがあります。それは、

「iPhoneのアプリ開発したい！ させて〜〜！」

と、訴えたいからであります。

しかし、「させて」と言っても、誰かが止めているわけではありません。

弊社・タップハウスの社長は寛大なので、やりたいことはほとんどん任せてくださる人なのです。

しかし、しかし、私の心が止めるのです。いや、止めるとい

「かべ新聞」や「かべ新聞」(完さん、おまき) あ〜こんなに遅くなってしまいました

うよ、忘れ心が出てきて、一歩も進まないのです。だから、ここで、大見得切つて、後には下がれない状況に自分を追い込みたいと思ったので

iPhoneのアプリ。今、流行りです。

ガンポーさんの「バズドラ」というゲームアプリは、一発当たつただけで、天下の任天堂さんの時価総額を超えてしまう株価まで上昇しています(持っている人がうらやましい)。

でも、現実的に言つて、弊社・タップハウスがiPhoneのアプリを作れたとしても、任天堂さんを超えるなんてこと、できっこないです。

人もいないし、ルートもない。しかも、開発費用もない。けど、作りたいんです。タップハウスで印刷した本をiPhoneのアプリとして出したいんです。

iPhoneのアプリは便利です。片手で、単語を覚えられたり、耳からNHKさんの「基礎英語」が聞けたりしますから勉強するにはぴったり。

一昨年、iPhoneの4Sが発売された時に、私は飛びついて買いました。その時は知りませんでした。台湾に行くことになって初めて気づきました。英語が話せる台湾の人と、英語を知らないとも話しができないってことを。iPhoneに

は勉強できるアプリがあるのに、そういうことをしなかった天罰身にしてみわかりました。

そんな時、「宅建」の参考書を作りたいという人が現れました。その人のことは、仮にF西さんとしましょう。

その人は、宅建の勉強の仕方新しい方法を考えられていました。

具体的に言いますと、体系だつて勉強するために、「コード」を用いるということでした。

その画期的な勉強法を考えられたF西さんの本は、実際、タップハウスで印刷し、製本させていただき、今ではアマゾンで販売されています。

合計4冊(ほんとのことを言いますと、2013年5月14日現在、4冊目はまだ本の形になっていません。今、製本の段階までできています)。

その4冊。パッと見は、とっつきにくそうに思うのですが、真剣に勉強したい人にとっては、それぞれの項目にコードがついているので、非常に使いやすいそうです。(関連する項目が本の中でリンクのようにつながっている感じがします)

リンク？
そうか？
この本がiPhoneのアプリになれば：

「宅建」という言葉で、iPhoneのアプリがどれくらいあるか調べました。

ヒットしたのが約80個。「宅建」という名前がついているアプリは45個(2013年4月現在)。

F西さんの本は、今アマゾンで販売されていると書きましたが、アマゾンの和書で検索すると、ヒットしたのは4364冊なんと、ケタが2つも違うではありませんか。

F西さんの本は、紙の本という形でも画期的な内容ですが、それがiPhoneのアプリだともっと使い勝手がよくなるのではないかと、いや、本の内容を全部アプリにできなくとも、一部だけでもアプリにできれば、本の内容のよさに気づいてくれる人が増えるのではないかと、そう思ったことが、

「iPhoneのアプリ作りたい」
って思ったきっかけです。

そして、私は本を買いました。「絶対に挫折しない iPhone アプリ開発「超」入門」

2940円なり。さて、さて、この後はどうなっていくか……

このビルの
右端の階段から3階へ

印刷も編集も製本も
原稿作成もしています